

平成26年度 見附市理科部 活動報告

部長 鎌倉 正和

1 研修テーマ

新学習指導要領の趣旨を踏まえた理科授業の充実を目指して

2 研究の概要

研修テーマに迫るために、今年度は以下の2つの内容で夏季休業中に研修会を実施した。

- 問題解決における「見通し」と「振り返り」の学習活動の充実について
- 小中連携した学習指導の在り方

3 研究の実際

- (1) 日 時 平成26年8月21日(木) 9:00～11:30
- (2) 会 場 見附市教育センター
新潟県工業技術総合研究所素材応用技術支援センター
- (3) 参加者 市内小中学校の理科部員 24名
- (4) 研修の概要

はじめに、見附市理科教育センター所員の上村貴雄先生を講師として、「小学校学習指導要領解説における、理科学習の問題解決の過程について」の研修を行った。「小学校理科の観察、実験の手引き」に示されている問題解決の過程を、観察・実験の学習を挟んで、「見通し」の学習活動、「振り返り」の学習活動に分類し、具体的な実践方法について確認する機会となった。



次に、新潟県工業技術総合研究所素材応用技術支援センターへ移動し、最新の顕微鏡や電子顕微鏡を用いた、物質の観察・分析の実際を見学した。普段学校で使用する顕微鏡では見られない世界を見ることができ、知見を広めることができた。また、有料ではあるが一般にも開放しているということも知り、様々な学習に生かすことができると考えた。

その後、児童用の顕微鏡を用いた、観察の仕方の工夫について実技研修を行った。教育センターの上村所員より、観察に適した教材やその作り方、活用のポイント等を紹介してもらい、研修を深めることができた。



4 成果と課題

本年度も前年度に引き続き、小中理科部員のアンケート結果を受けて研修内容を決定したことで、より現場のニーズに即した研修を行うことができた。また、実践方法や実技研修を通して、小中学校の教員が連携して指導していくべき内容の確認を行うことができた。今後も互いの実践を共有していくことで、小中連携した理科指導を勧めていきたい。